

## 第 69 回全国高等学校 PTA 連合会大会 京都大会 参加報告

開催日 令和 元年 8 月 22 日、23 日  
開催地 京都府 京都市勧業館みやこめっせ、ロームシアター京都  
参加者 高岡校長、成田会長、勝野、文、松前、松田

### 第一日目

#### 【全体会】

#### 【開会式】

今回のメインテーマは『Kyo から!未来を拓く』～受け継ぎ、創る新たなストーリー～でした。「Kyo から」には、「京都の地から」、「大会の今日から」、「共に協力して」、「(家庭)教育から」、などの思いが込められ、「未来を拓く」には、これまで蓄えてきた財産を元に、子どもたちの未来や今後の PTA 活動を作り上げるきっかけとなる大会にしてほしいという願いが込められています。

大会アトラクションとして、京都府立工業高等学校吹奏楽部による演奏が披露されました。



#### 【分科会】

6つの分科会に分かれ、テーマに沿ったパネルディスカッションや基調講演が講師の先生方により行われました。浦和一女 PTA は第 4 分科会、テーマは「高校生の人間関係について考える 高校生の本音を聞いてみませんか?」に参加しました。原 清治氏(佛教大学教育学部教授)による基調講演では 最近マスクをして顔を隠す中高生が増えている事を挙げ、これは自己防衛の表れであることが指摘されました。ネットの方が本音と言える高校生の人間関係の中で、子どもが何に「しんどさ」を感じているかという実情を把握し、家庭の中でも悩みを言いたくなる環境づくりこそが保護者の仕事であると強調されました。また、パネルディスカッションでは、3月に京都府内の高校を卒業した男女 5 人をパネリストに招き本音を語ってもらいました。その中で、幾つか取り上げると、○親に相談するのが恥ずかしい ○部活を辞めた事が言えない ○親にもっと聞いて欲しかった ○大学を決めるときもう少し一緒に考えて(悩んで)欲しかった ○模試の支払い用紙の手紙を出すとき嫌な顔をしてほしくなかった(模試代は子供も気にしている)等、高校生の時には言えなかった事を語ってくれました。また、会場の保護者側か

らの質問として、「学校から帰宅する時遅くなるなら電話してほしい、何故連絡しないのか」というものが出ました。これに対して、パネリストからは、「友達といる時に親に電話するのは恥ずかしい」、「友達がいなければ電話する」等の本音も聞き出せました。見事に若者と保護者の本音の対話へと導く先生の話術はとても素晴らしかったです。

## 第二日目

### 【全体会】



大会アトラクションとして、京都市立塔南高等学校吹奏楽による演奏 京都府立鳥羽高等学校披講研究部による披講が披露されました。

### 【記念講演】

「学校教育・家庭教育に思うこと」

日本電産(株)代表取締役会長 永守 重信氏

ブランド主義と偏差値教育に偏った日本の大学教育の変革とグローバルに通用する即戦力人材育成するにはどうしたらよいのか等、ユーモアを交えた有意義な講演でした。講演の後は、参加者からの質問に答えて頂く時間があり、個性の強い情熱的な永守氏ならではの答えで会場は盛り上がり、講演は盛会のうちに終了しました。



### 【閉会式】

来年度の大会は島根にて『ご縁づくり』～いいご縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ～ をスローガンとして行われることとなっており、島根大会実行委員長へと引き継ぎが行われ無事閉会となりました。

(文責 本部)

